
「難治性食道静脈瘤に対する PSE(部分的脾動脈塞栓術)の有用性()」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2011 年 1 月 1 日から 2023 年 8 月 31 日の期間に埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科を受診し、難治性食道胃静脈瘤と診断され、PSE(部分的脾動脈塞栓術)を実施した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

PSE を施行した難治性食道静脈瘤症例の経過を解析し、その有用性を評価します。

3. 研究期間

病院長の許可後 ～ 2024 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2023 年 9 月 19 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

試料：なし

情報：検査データおよび診療記録より下記の内容について利用します。

患者背景（年齢、性別、肝疾患の成因）、内視鏡所見、内視鏡治療日、内視鏡治療回数、PSE 所見、PSE 治療日、肝予備能、血液検査（白血球・ヘモグロビン・血小板・アルブミン・総ビリルビン・アンモニア・PT%）、PSE 後食道静脈瘤再発率、PSE 後生存期間

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科において、研究責任者である持田智が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

難治性食道静脈瘤と診断された患者さんの治療を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 持田 智

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 菅原 通子

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1198（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：難治性食道静脈瘤に対する PSE(部分的脾動脈塞栓術)の有用性()

○研究責任者：埼玉医科大学病院 消化器内科・肝臓内科 持田 智